市議会だより

議会の取り組みをお知らせする情報誌

すず市議会だより

No.4

平成29年
5月1日発行

就任のごあいさつ

珠洲市議会議長　赤坂　敏昭

この度、議員各位のご推挙により、第37代市議会議長に就任いたしました。身に余る光栄に存じますとともに、その重責を痛感し身の引き締まる思いであります。もとより微力ではございますが、地方自治の進展と住民福祉向上のため、専心努力いたす所存であります。

本年9月には待望の奥能登国際芸術祭が開催されます。議会といたしましても、珠洲の魅力を全国に発信する絶好の機会と捉え、その成功に向け、惜しまぬ努力を傾注してまいりたいと思っております。

さて、全国的に議会改革が叫ばれているなか、珠洲市議会では市民の皆さまに議会の活動をわかりやすく発信し開かれた議会を目指すとともに、議会の機能を高め、その役割を十分発揮できるよう、様々な協議・検討を重ねているところでございます。

今後は、円滑な議会運営に誠心誠意努力するとともに、議会の活性化に向け、積極的に取り組んでまいりたいと考えておりますので、市民の皆さまには、さらなるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げ、就任のごあいさつといたします。

平成29年 第1回 3月定例会

会期:平成29年2月27日～3月15日

平成29年度一般会計予算111億7、200万円

奥能登国際芸術祭事業に2億6、699万5千円

平成29年2月27日から17日間の会期で3月定例会を開催し、議会議案3件、平成29年度一般会計予算案など市長提出議案35件をすべて原案のとおり可決、市長提出議案1件に同意、請願1件を採択しました。今議会から、議会改革の一環として、予算案については新たに設置した予算常任委員会で審査し、条例案などその他の議案については従来の総務・教育民生・産業建設の各常任委員会で審査する方法に変更しました。

予算常任委員会で予算案を集中審査

従来、予算案は所管する課室ごとに分割し、総務・教育民生・産業建設の3つの常任委員会に付託し審議してきました。効率的に委員会審議を行うことができるというメリットはありましたが、歳入、歳出からなる予算はそもそも不可分のものであり、また各議員にとっても所属委員会以外に付託された予算の細部を把握しにくいという課題もありました。そこで議会改革特別委員会での議論を経て、全議員を構成員とし、予算を総体として審議する予算常任委員会を設置することを盛り込んだ珠洲市議会委員会条例改正案を全会一致で可決しました。

これを受け、会期中の3月7日から9日までの3日間、計約18時間にわたり予算常任委員会を開催しました。平成29年度一般会計、特別会計、企業会計の各予算案、平成28年度一般会計、特別会計、企業会計の各補正予算案について各課(室・局)長及び担当者から説明を受け、全委員から活発な質問があり、予算案のより慎重な審議につなげることができました。

意見書1件、決議1件を全会一致で可決

議会議案第2号「地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書について」は、地方議会の人材確保の観点から法整備を求めるものです。

議会議案第3号「北朝鮮による弾道ミサイル発射に抗議する決議について」は、去る3月6日、朝鮮民主主義人民共和国が4発の弾道ミサイルを発射し、1発が能登半島沖の海域に落下したことに対し、能登半島を含めた国内、そして船舶の安全を脅かす暴挙であることから断固抗議するものです。

地域創生特別委員会を新たに設置

定例会最終日に、常任委員会の所属委員の変更を行い、議会運営委員会、議会改革特別委員会、地域創生特別委員会についても新委員を選任しました。詳細は11ページをご覧ください。新設した地域創生特別委員会は地域振興基金や奥能登国際芸術祭について調査を行います。また、奥能登クリーン組合議会議員に大兼政議員を指名推薦し、上野議員の監査委員選任に同意しました。

3月定例会の議決等結果

■全会一致で議決された議案等

件名			備考
議会議案第１号	珠洲市議会委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議会議案第２号	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書について	原案可決	
議会議案第３号	北朝鮮による弾道ミサイル発射に抗議する決議について	原案可決	
議案第１号	平成29年度珠洲市一般会計予算	原案可決	
議案第２号	平成29年度珠洲市国民健康保険特別会計予算	原案可決	
議案第３号	平成29年度珠洲市下水道事業特別会計予算	原案可決	
議案第４号	平成29年度珠洲市介護保険特別会計予算	原案可決	
議案第５号	平成29年度珠洲市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	
議案第６号	平成29年度珠洲市賃貸住宅事業特別会計予算	原案可決	
議案第７号	平成29年度珠洲市病院事業会計予算	原案可決	
議案第８号	平成29年度珠洲市水道事業会計予算	原案可決	
議案第９号	平成28年度珠洲市一般会計補正予算（第４号）	原案可決	
議案第10号	平成28年度珠洲市国民健康保険特別会計補正予算（第４号）	原案可決	
議案第11号	平成28年度珠洲市下水道事業特別会計補正予算（第３号）	原案可決	
議案第12号	平成28年度珠洲市介護保険特別会計補正予算（第２号）	原案可決	
議案第13号	平成28年度珠洲市病院事業会計補正予算（第３号）	原案可決	
議案第14号	平成28年度珠洲市水道事業会計補正予算（第２号）	原案可決	
議案第15号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第16号	珠洲市個人情報保護条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第17号	滞在交流施設日置の設置及び管理に関する条例について	原案可決	
議案第18号	珠洲市定住促進空き家活用住宅の設置及び管理に関する条例について	原案可決	
議案第19号	珠洲市税条例等の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第20号	高屋・笹波辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	原案可決	
議案第21号	指定管理者の指定について	原案可決	飯田わくわく広場
議案第22号	珠洲市立保育所設置条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第23号	珠洲市鉢ケ崎温浴施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第24号	指定管理者の指定について	原案可決	珠洲市鉢ヶ崎温泉元気の湯
議案第25号	活性化拠点施設の設置及び管理に関する条例について	原案可決	
議案第26号	珠洲市農業委員会の委員等の定数条例について	原案可決	
議案第27号	珠洲市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第28号	奥能登クリーン組合規約の変更について	原案可決	
議案第29号	権利の放棄について	原案可決	
議案第30号	権利の放棄について	原案可決	
議案第31号	指定管理者の指定について	原案可決	珠洲市勤労者センター
議案第32号	指定管理者の指定について	原案可決	笹波・石神地区 営農飲料水用施設
議案第33号	指定管理者の指定について	原案可決	寄り道パーキング寺家
議案第34号	指定管理者の指定について	原案可決	活性化拠点施設わかやま
議案第35号	指定管理者の指定について	原案可決	すずなり館
議案第36号	珠洲市監査委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意	上野　良夫

■賛否が分かれた議案等

件名		番匠雅典	濱野隆三	米田幸助	北野進	濱田隆伸	三盃三千三	大兼政忠男	中板秀一郎	上野良夫	寺井秀樹	赤坂敏昭	向山忠秀	小泊辰男	森井洋光	議決結果
請願第１号	市道認定および道路整備について	○	○	×	×	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	採択

○賛成　×反対　議長は裁決に加わりません

■選挙結果

選挙第１号	議長の選挙について	当選	赤坂　敏昭
選挙第２号	奥能登クリーン組合議会議員の選挙について	当選	大兼政忠男

決議

北朝鮮による弾道ミサイル発射に抗議する決議

去る3月6日、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）から発射された、4発の弾道ミサイルのうち1発は、能登半島の北北西約200キロの海域に落下したと日本政府による発表があった。

北朝鮮は、昨年、核実験を2度にわたり実施し、また、長距離弾道ミサイルや潜水艦から発射したものを含め、20発を超える弾道ミサイルの発射を実施した。

さらに、今年に入り、日米首脳会談直後の2月12日の発射に続き、今回も4発の弾道ミサイルを発射するなど、度重なる弾道ミサイルの発射は、新たな段階の脅威であることを明確に示すものであるとともに、日本国内、そして国際社会全体の安全保障に対する明らかな挑発行為であり強く非難する。

本市は能登半島の最北端に位置し、今回の弾道ミサイルが落下したとされる海域からも非常に近く、付近では多くのイカ釣り漁船等が操業していることから、船舶の安全確保の観点からも、極めて危険な行為であり、断じて容認できるものでない。

よって、本市議会は、これら北朝鮮の暴挙に対し、断固として抗議するものであり、国においては、暴挙を許さないという強い姿勢を、言葉のみならず、国際社会と連携し、早急かつ慎重に対処するよう強く要望する。

以上、ここに決議する。

平成29年3月15日

石川県珠洲市議会

予算常任委員会

議論白熱の3日間

一般会計・特別会計・企業会計 総額237億5833万円を審議・可決

※審議過程での質疑応答の一部を紹介します。

総務常任委員会所管

問 **過疎債充当額が多すぎる。新しい焼却処分場も過疎債充当予定と聞いている。過疎債はそんなに多くの事業に充当できるのか。**

答 平成29年度過疎債充当額は7億8、900万円の予定。新焼却施設は県としても奥能登の重要な事業であり、能登町と一緒に県の枠を確保できるようお願いしていく。珠洲市としては、埋立処分場や図書館建設もあり、過疎債の枠は非常に厳しい状況であるが、国・県に窮状を訴えていく。また、平成29年度については県と協議し予算化したが、国から県への配分もあり、過疎債の要求に対する充当率100％は厳しい状況である。

問 **奥能登国際芸術祭3事業の事業費は、昨年開催された地域振興特別委員会で出された予定額と当初予算額ではかなりの増減がある。当時の見込みとどこが変わったのか。**

答 当時は3事業の分類が十分整理できておらず、当初予算では分類を明確にしたため割振りが変わった。また、総額が縮小したのは、制作系、改修事業、サポーターなど、かなり安全側で積算されていたが、予算編成作業の中で精査した。

奥能登国際芸術祭 珠洲 SUZU 2017 OKU-NOTO TRIENNALE

問 **奥能登国際芸術祭参加アーティストの作品制作箇所やプランが（遊休施設等に）決まると、遊休施設の利活用に向けた基盤整備を順次実施するとのことだった。今回の当初予算に計上されていなくて、これから増えていくものがあるのか。また、駐車場やトイレなど整備が必要だが対応をどうするのか。**

答 作品制作場所は、ほぼ確定したが、駐車場や建物整備など不確定な部分がある。アートフロントギャラリーには、常に予算を意識してほしいと伝えてある。作品にも影響するためアーティストとの協議を続けている。設計の済んでいない清水保育所・公民館等、公共施設改修があるが、6月補正までには決定したい。

問 **老朽空き家対策で、年度内に助成金などの交付要綱をまとめられると思うが内容について知りたい。さらに、250件中30件が危険な状態とあるが、本当に危ない建物と判断する基準はあるのか。代執行は検討しているのか。また、空き家対策協議会メンバーは4名しかいないのか。**

答 交付要綱については1月に空き家対策協議会を設置しており、3月末に事務局案を提示したい。平成27年に区長に依頼し調査した結果、空き家1000件、区長目視危険物件が250件、うち職員調査により30件が危険な状態であった。危険空き家の判断は、協議会で基準を示し論議する。空き家対策特別措置法で指導・助言・勧告・強制代執行との流れがあり代執行しても債権は残る。協議会メンバーは、市長・企画財政課長・建設課長・総務課長・議員1名・区長会代表1名・県建築士会珠洲支部代表2名の計8名である。

教育民生常任委員会所管

問 **総合病院のパート医師にはどれくらいの報酬を払っている**

のか。

答 来られる医師に応じて計算し、月払いである。

問 **常勤医師の報酬は手当が大きいのか。**

答 手当については、手術があればそれに応じた手当、緊急に呼び出されるなどの勤務体系のため、他の職よりも大きくなる。

問 **飯田小学校の大規模改修について、将来的に統廃合する計画もあるが、当面予定は無いのか。**

答 小学校の統廃合については、今のところ考えていない。

問 **三崎中学校については、大規模改修の中で、小中連携に配慮した施設を考えているのか。**

答 みさき小学校と三崎中学校の小中一貫は、分離型で行うことを考えており、新たな施設は考えていない。

問 **介護保険法改正により、要支援者のデイサービスやホームヘルプサービスが市町村事業となり、現行どおりのサービスや基準緩和のサービスが提供されるということだが、どのようなイメージか。**

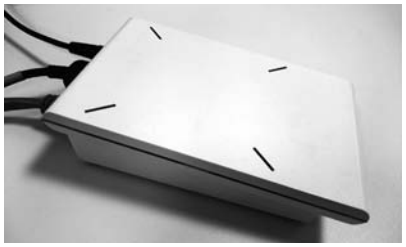
答 平成29年4月からは、要介護認定を受けなくても、地域包括支援センターのマネジメントを経て、デイサービスやホームヘルプサービスが受けられるようになる。その中でも元気な高齢者には、これまでのデイサービスよりも、自立支援を意識した、基準緩和サービスが提供される。

問 **平成30年開催予定の日本スカウトジャンボリーの全体事業費はいくらか。また、珠洲市の負担はどれくらいなのか。**

答 会場整備費として、平成29・30年度の合計で約1億3千万円、その半分が県の補助である。

問 **元気の湯の関係で、活動量計のリーダーライターの設置場所を5カ所増やすということだが、どこになるのか。**

答 設置には事業主の理解と、インターネット環境が必要なため、これから探す予定である。薬局や皆さんが利用する商店などを考えている。



活動量計のリーダーライター

産業建設常任委員会所管

問 **一般廃棄物処分場について、協定はどの地区と結ぶのか。**

答 協定を結ぶ地区は、建設予定地の半径500メートル内に含まれる地区が該当し、宝立町は下中ノ釜地区、上戸町は1区・2区と協定を結ぶ予定である。

問 **平成28年度分の小屋ダムの売電額はいくらか。**

答 小屋ダムの水力発電に係る分配金については、県には北陸電力より781万5、351円の収入があり、そのうちの1割が本市の収入となっている。

問 **観光宣伝事業費について、東京などの出向宣伝費やテレビ事業者との契約がある。ターゲットは、県内客なのか県外客なのか。また、実際珠洲市に訪れている観光客はどの地域から訪れる人が多いのか。**

答 県内も県外も両方である。東京など首都圏での出向宣伝や、県内のイベントも積極的に参加する。また、観光客の入込数が一番多いのは県内の人で次は関東、関西、中京である。

問 **地方債の償還について、公共下水道分で4億5千万円、利子で8、300万円だが、残高はいくらになったのか。**

答 現在の未償還残高は、下水道事業総額で約69億円、その内、公共下水道が約58億円、合併処理浄化槽が2億4千万円、特定環境保全公共下水道が約8億3千万円である。

問 **社会資本整備交付金事業の市営グラウンド整備の整備内容並びに事業費はいくらか。**

答 昨年度、学校や地元からグラウンドの排水が悪いと指摘を受けた。調査をした結果、既存の地下排水や、覆っている再生砕石に問題はなく、長期間踏みつけたために表土が固くなり、水が浸透しないことが原因であった。工事内容は、表土の土砂を取り除き、産業廃棄物として処分し、土砂を入れ替える予定であり、事業費は約8千万円である。

市営グラウンド

3月定例会　一般質問

一般質問に１０人が登壇
奥能登国際芸術祭や子育て支援についてなど
市政全般を問う

３月６日、本会議では、10氏が一般質問に登壇しました。各議員の主な質問と答弁の要旨を紹介します（質問順に掲載しています）。
※一般質問とは、議員が市長などに対し、市の政策や各事業などについて、その方針や実施状況を問うことです。

放課後児童クラブについて

Q　昼間家庭にいない世帯が増えてきている中で、蛸島児童クラブを新設できないか。

A　蛸島地区放課後児童クラブの開設については、昨年11月4日に保護者の方からご要望をいただき、開設に向けて努力してきた。幸い、蛸島小学校には余裕教室もあるが、問題となるのは支援員または補助員の確保である。現時点において、新たに蛸島児童クラブを開設することは極めて困難である。児童クラブを必要とする蛸島地区の保護者の皆様のお気持ちは十分理解しており、引き続き必要な職員の確保に努めてまいりたい。（泉谷市長）

上野　良夫 議員

りふれっしゅ村鉢ケ崎の整備について

Q　りふれっしゅ村鉢ヶ崎の多目的広場の今後の整備や、日本スカウトジャンボリーの跡地利用については、どのように考えているのか。

A　多目的広場の今後の整備については、利用頻度や緊急性を総合的に勘案し、検討していきたい。また、第17回日本スカウトジャンボリー後の用地の利用については、この地が野外活動のメッカとなるよう、ジャンボリーをはじめ、さまざまなキャンプ大会の誘致に向けて、関係機関への働きかけを継続するとともに、交流人口の拡大に向けた各種イベントの開催など、有効な利活用に努めてまいりたい。（泉谷市長）

水道未普及地域の対策について

Q　宝立町馬渡地区の水道未普及地域解消事業の概算工事費と実施時期を問う。

A　概算工事費は5億3千万円を見込んでおり、実施時期を平成32年からとしているが、水道事業の経営状況を勘案すると実施は容易ではない。（泉谷市長）

Q　水道普及率は何％か。水道での整備が困難な場所は他事業整備も検討するとなっているが、東山中地区の飲料水供給施設及び笹波・石神地区の営農飲雑用水施設の建設コスト・決算状況を聞く。また、飲料水供給施設の設置を検討しているか。

A　平成27年度の普及率は98・35％。東山中地区は5千万円、笹波・石神地区は農業用水も含め3億3千万円で整備した。両施設とも使用料収入によって運営を賄っており、地元組合の維持管理で、水道事業より安価な料金で運営されている。新たな飲料水供給施設の設置は検討していない。（泉谷市長）

Q　水道がない地域に居住し、生活用水確保のため井戸などを掘削する必要がある住民には、給水設備の経費を補助する制度が必要ではないか。

A　水道未普及地域での生活用水確保のため、制度の創設を検討する。（泉谷市長）

濱野 隆三 議員

〈その他の質問〉
・市所有の美術品、工芸品の展示について

子育て支援の拡充を

番匠　雅典 議員

Q 若い世代の夫婦が親の支援なくして生活することが非常に難しい中で、第2子の保育料と児童クラブ利用料を無料にするということも少子化対策の一つになると思うが考えを問う。

A 第2子の保育料については、国の制度において昨年4月から、年収360万円未満の世帯に限り年齢制限を撤廃した第2子について保育料を半額とし、さらに11月からは、残りの半分を県と市が負担し無料化している。児童クラブの利用料については、昨年4月から多子世帯の負担軽減として、18歳以下の児童が3人以上いる世帯の第3子以降の児童の利用料を所得制限により無料化している。第2子についてもご提言通り本年4月より実施したいと考えている。（泉谷市長）

獣類等について

Q 捕獲報奨金の単価や申請方法を変更するということであったが、内容を聞く。

A 捕獲報奨金の単価を、幼獣は2万円、成獣は3万円とし、80センチを超えないものを幼獣とし、超えるものを成獣として取り扱う。また、捕獲報奨金の申請にあたり、止め刺しした後の写真撮影は、物差しにより大きさを判断できる写真とする。（下産業振興課長）

〈その他の質問〉・学習指導要領改訂案・獣肉処理施設

都市計画税について

Q 都市計画税は都市基盤整備のための目的税である以上、現在の事業が終了し、新たな事業が計画されていないのであれば、都市計画税そのものを廃止してはどうか。40年間事業が行われずこれからも行われない課税区域の鵜島・三崎両地区を除外すべきである。税の不公平解消を早期に図るべきではないか。

A 都市計画税については、昨年度から今後の方向性について協議を重ねている。現在、新たなマスタープランを策定したが、都市計画区域の変更はなく、今後、都市計画税の課税区域や税率について、さらに検討を進め、新年度のできるだけ早い段階で結論を出したいと考えている。（泉谷市長）

路線バス三崎線（大屋）について

Q 昨年12月に市営バス三崎線において運行しなかった日が2日あったが、市としてはどのような罰則を課し、今後どのような指導・対応をしていくのか。

A 今回の事態に対し地域住民にご迷惑をおかけしたことをお詫びする。事業者には厳しく注意をし、再発防止を強く指導した。契約により運行しなかった当該分を減額し、9月からの業者選定にあたり指摘を参考にし、適切に対応していきたい。（金田企画財政課長）

赤坂　敏昭 議員

消雪装置の問題点について

向山　忠秀 議員

Q 消雪装置は高齢化が進む本市にはなくてはならない装置であるが、必要な場面で稼働していない場合がある。併せて地下水の悪臭の苦情もある。原因と解消対策を問う。

A 一部県が管理する施設で取水ポンプの故障等で装置が稼働しない事態が発生したが、現在は復旧している。悪臭の主な原因は硫黄臭であるが、対策費用が高額であり、県内にも同様な問題があるが、実施していない。（大濱建設課長）

元気の湯について

Q 市民の健康寿命を延ばす活動拠点としてリニューアルオープンして約1年が経過した。利用者数が延べ4万5千人とのことだが、水道、電気、燃料代及びボイラー油種と、「元気の湯」、「ゲンキ食堂」の利用者数を尋ねる。

A 平成28年4月から12月までの支出は、電気代約530万円、LPガス代（浴場ボイラー）約1、020万円、上水道料金約660万円。利用者数は2月末現在で入浴施設は約3万2千人、食堂は6、100食、元気の部屋は約6千人となっている。（加賀福祉課長）

〈その他の質問〉
・二元代表制について
・議会改革について
・新聞記事の「新首長の時代」の当事者として

金沢地方気象台との連携について

Q 去る2月15日に珠洲市と金沢地方気象台との合同訓練が行われ、全国的にも珍しいと報道された。この訓練の意義並びに必要性を問う。

A 災害対策基本法では、金沢地方気象台長等の指定行政機関の長が自治体への必要な助言を行うこととされている。素早い情報収集や関係機関との連携強化を図るため、金沢地方気象台の「防災情報提供システム」と「ホットライン」を活用し、市長が避難勧告等を発令する訓練を実施した。（土口危機管理室長）

奥能登国際芸術祭への意気込みについて

Q 9月3日から開催される奥能登国際芸術祭まであと180日余りとなった。市民の皆様が一丸となって、「よし、やろう」と気持ちを高めていくためにも、市長の意気込みを問う。

A 奥能登国際芸術祭では、本市の魅力である「食」と日本遺産の「キリコ祭り」を重要な「資源」として位置付け、情報発信等の絶好の機会であると捉えている。珠洲市を外に向けて開き、珠洲市の可能性を開く、さらには珠洲市の未来を開いていくためにも、市民の皆様と共に奥能登国際芸術祭を成功させたいと考えている。（泉谷市長）

三盃 三千三 議員

〈その他の質問〉
- 芸術祭での防災対策について
- 爆弾低気圧への対応について

ふるさと納税事業について

Q 直近のふるさと納税額と寄附件数の昨年度比較と、ふるさと納税事業予算の増額の理由を聞く。

A 平成29年2月末現在の寄附申し出件数は、1、749件、4、323万6千円で昨年、同期の82件、609万1千円と比較すると件数で21倍、金額では7倍となっている。予算については、平成28年度当初は寄附額3千万円を見込んでいたが、平成29年度は5千万円を見込んでいる。寄附額を2千万円増額したことに伴い、返礼品の購入費や、手数料、インターネット等のシステム使用料を増額している。（泉谷市長）

奥能登国際芸術祭について

Q 宿泊施設や飲食店に特化した、開業や再開、増改築、設備投資に改修補助を創設できないか。

A 新たな宿泊施設や飲食店の開業、雇用を伴う事業の拡大に係る設備投資については、珠洲の仕事場創業・拡大支援助成事業で対応したい。また、市として官庁関係の許可申請や手続きを支援し、宿泊施設を増やすための取組みを進めていきたいと考えている。（泉谷市長）

中板 秀一郎 議員

〈その他の質問〉
- 日本スカウトジャンボリーについて
- 珠洲まるかじり、奥能登よばれごっつぉ選手権、まるかじりバルウイーク、飯田町商店街企画について

修学資金（奨学金）について

Q 4月から珠洲市総合病院への就職を条件に、修学資金を貸与し就職時に返済を免除する奨学金制度を設けるとのことだが、病院以外の市内の民間企業に就労を目指す学生も奨学金返済で大変苦労されている。過疎化の厳しい珠洲市では、全国どこの自治体よりも先駆けて人材確保に取り組んでいかなければならない。そこで珠洲市総合病院就職者だけでなく、珠洲市にUターンし就労する学生達には職種に関係ない奨学金制度を考えるべきではないか。

A 珠洲市総合病院の医療職以外の職種については貸与制度の導入は考えていない。（泉谷市長）

観光誘客に向けたシャトルバス実証運行について

Q 奥能登国際芸術祭で運行予定の市内シャトルバスには芸術祭に訪れる観光客だけではなく、お年寄りや子供達なども乗れるようにしてはどうか。また、芸術祭終了後も市営バスとして残すことも考えるべきではないか。

A 市民の方々にも周遊バス乗車券の購入を可能にしたいと考えており、この機会に乗車していただきたい。併せて、バス車内などで予定しているアンケート調査にも協力していただきたい。（金田企画財政課長）

濱田 隆伸 議員

奥能登国際芸術祭の予算と経済効果を問う

Q ①実行委員会予算のうちアートフロントギャラリーへの委託費はいくらか。②地域経済への波及効果を聞く。

A ①総合ディレクション費用は約3、400万円、PR、広報費用は約1千万円、作品制作経費は2億4、500万円を見込んでいる。実行委員会予算は4億7百万円を見込んでおり、委託費は約7割を占める。

②現時点で約5億円の経済効果が及ぶと考えている。印刷物や看板、物品購入等の発注は市の財務規則に準じて行い、ほとんどを市内業者に発注している。作品制作も、基本的には同様の取扱いをしていく。（金田奥能登国際芸術祭開催準備室長）

学校の多忙化解消について

Q ①業務改善目標を定めるべきではないか。

②部活動について、文部科学省は週2日以上の休養日の設定を求めているが、対応を聞く。

A ①市教委の調査物は昨年度末に見直し、研修会も整理している。研究発表会の発表校数も大幅に縮減し、負担軽減を図っている。

② 文科省の設定例を踏まえ、週当たり1日以上の休養日を設定するよう通知する。（多田教育長）

北野 進 議員

〈その他の質問〉・珠洲市のブランド化・地域振興基金・国民健康保険について

子育て環境について

Q 中学生の部活支援として、市外で開催される公式試合では移動経費の全額を、練習試合は2分の1を補助するが、小学生についても珠洲の子どもたちのスポーツ活動支援という観点から、同じように支援する必要があるのでは。

A 小学生のスポーツ活動は、保護者と関係者の相互協力のもとに実施されるものと考えている。（泉谷市長）

Q 国としても一律でお昼寝を取らせないようにと言っているなか、珠洲市内の保育所に関しても検討する必要があるのでは。

A 概ね午後1時から午後2時半を目安としてお昼寝の時間を設け、早く目覚めた子どもには個別の対応をしている。（加賀福祉課長）

Q 親子共に安心して生活できるよう、放課後児童クラブを各地の学校に設けるか、保育所を活用する等の提案をすべきでは。

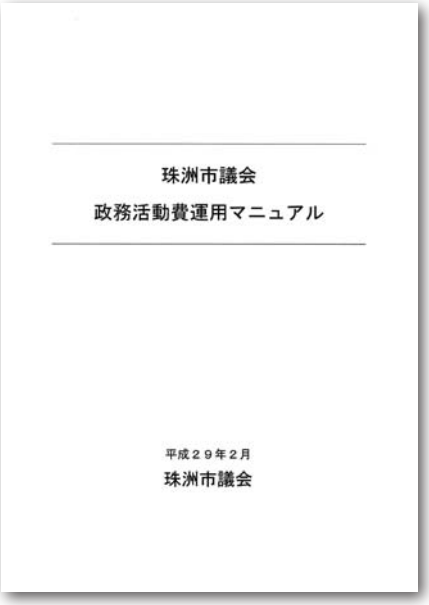
A 昨年11月4日に保護者からの要望を受け努力してきたが、極めて困難。（加賀福祉課長）

Q 子育て支援センター・児童館の運営を近隣自治体同様に利用者の多い日曜日にもすべきでは。

A 新たな施設の整備と併せ検討する。（加賀福祉課長）

米田 幸助 議員

〈その他の質問〉・指定管理者・個人市民税・飯田高校の存続・タブレット導入・漢字、計算コンテスト・地域おこし協力隊・保育料所得制限緩和についてなど



政務活動費運用マニュアルを制定しました

昨年の政務活動費の問題から、政務活動費あり方検討会を設置し、市民の皆様の信頼回復と、より透明性の確保をするため議論を重ねてきました。この度、政務活動費に充当することができる経費におけるマニュアルを制定しましたのでホームページ上で公開します。

また、平成29年度からは政務活動費の支給方法を、支出実績に基づく後払い方式に変更するとともに、収支（実績）報告書を公開し、領収書等については、議会事務局において閲覧することができるようになりました。閲覧を希望される方は議会事務局までお問い合わせください。

■珠洲市議会事務局　☎(82) 7797

常任委員会の主な審査内容

※審議過程での主な質疑応答の一部を紹介します。

総務

委員長　森井　洋光
副委員長　赤坂　敏昭
委員　中板秀一郎
〃　北野　進
〃　濱野　隆三

付託案件：議案 7件

問 **能越CATVの放送中の画像の乱れについて原因は何か。**

答 現在調査中だが、通信線の劣化の可能性があり、能越ケーブルネット株式会社では年度内に対応したいとのことである。

問 **滞在交流施設日置の設置及び管理に関する条例について、部屋割り、名称を聞く。**

答 8人部屋が4つ、4人部屋が1つである。名称は「日置ハウス」を使っていきたい。

問 **滞在交流施設日置の宿泊の申し込みなど受け入れ体制を聞く。**

答 1年目は地元に一部管理委託していきたいが、管理者のトレーニングも必要なので、奥能登国際芸術祭が終わる10月までは特定の人、特定の大学やサポーターを中心に情報提供してシステムを立ち上げていく。担当は地域おこし協力隊とし、地元と話を進めていく。

問 **滞在交流施設日置の周辺に店舗はないが、食事は提供するのか。**

答 自炊を基本とする

教育民生

委員長　寺井　秀樹
副委員長　大兼政忠男
委員　米田　幸助
〃　番匠　雅典

付託案件：議案 4件

問 **一人暮らしの高齢者が、冬期間に少しだけ住んだり、集まったりすることができる住宅を整備できないか。**

答 市外での取組みとして、故郷に寄附をされた方のご厚志を使って、冬期間だけの高齢者住宅、一人暮らしの高齢者が冬期間になると集まって住むといった建物を持っていた。それを民間でやろうとすると、通年的に収支が取れない。行政で行う場合、現状では厳しいと考える。

問 **来年開催のジャンボリーに係る今年度の準備はどのようになっているのか。**

答 平成29年度予算は、概ね会場整備であり、秋からは、仮設の汚水管の設置を予定している。地権者の方からは、前回同様の借上料ということで、特段反対もなく、概ね了解を得た。

問 **元気の湯の営業時間の短縮についてはやむを得ないと思うが、イベントなどで多く来場が見込める時期は時間の変更は可能か。**

答 当然、お客さんに入ってほしいという思いはあるので、一定数の見込みがある時は早めに開ける等の対応はしていきたい。

産業建設

委員長　小泊　辰男
副委員長　向山　忠秀
委員　上野　良夫
〃　三盃三千三
〃　濱田　隆伸

付託案件：議案 11件
請願 1件

問 **請願第1号について（熊谷町地内）、仮に市道に認定された場合、用地買収はするのか。また、舗装するとすれば工事費はいくらかかるのか。**

答 市道認定されても、用地は買収しない。工事費は、延長が70メートル、幅員2・5メートルで、約250万円である。

請願の現地確認（熊谷町地内）

問 **活性化拠点施設わかやまの営業時間は、冬季も夏季も変更はないのか。**

答 管理者が事前に申請すれば、営業時間の延長も短縮も可能である。

問 **水道料の権利の放棄について、税金の滞納であれば差し押さえると思うが、差し押さえはしないのか。**

答 税金は公債権であり強制的に差し押さえできる権利があるが、水道料は私債権なので、差し押さえは訴訟を起こさない限りできない。

市道認定及び道路整備の請願について質疑・討論

質疑

米田 幸助 議員

Q 本請願は、熊谷町の法定外公共物、いわゆる赤道の市道認定に関するものだが、周辺の権利関係や道路の利用状況、必要な予算等について、産業建設常任委員会での審議過程を問う。

小泊 辰男
産業建設常任委員長

A 審議状況について、まず、委員5名で現地調査し、地元区長から道路の現状及び利用状況について聞き取りを行った。普段から地域の方々が生活道路として利用していることや居住者の存在を確認した。道路の状態は、路面にぬかるみなどがあり通行に不便をきたしている。また、市道と市道を繋ぐ道でもあり、全線を市道認定することが妥当であると判断した。権利関係については、個人情報でもあり、プライバシーにもかかわることであるため、当委員会では判断すべきではないと考える。また、市道認定後の道路整備に関する予算については本請願とは別問題であり、市道認定された後、その時の状況を確認したうえで判断すべきことである。

討論

反対

北野 進 議員

新しい住民が転居して来られ、利便性を高めることは理解できるが、請願内容に関連する土地建物の権利関係などいくつかの点について、関係者の説明が食い違い、このまま採択という結論でいいのか、疑念が消えない。反対という立場は本意でなく、継続してさらに慎重な審議を求めるが、委員長報告が採択すべきとあるため、反対せざるを得ない。

賛成

中板 秀一郎 議員

現況の道路は、排水機能が無く降雨の際は辺り一面が水たまりとなり、地域の方々は非常に苦慮されている。今日では道路整備はまだまだ整備が行き届かず不便な思いをしている方も多い。道路整備は日常生活の根幹的役割を担う観点から、いたずらに個人のプライバシーを詮索する必要はないと考える。請願については速やかに採択し、一日も早い道路整備を望むものである。

委員会構成の変更

◎は委員長、○は副委員長

議会運営委員会

◎大兼政忠男　○寺井　秀樹
米田　幸助　三盃三千三　向山　忠秀

総務常任委員会

◎寺井　秀樹　○米田　幸助
三盃三千三　赤坂　敏昭　小泊　辰男

教育民生常任委員会

◎番匠　雅典　○濱田　隆伸
上野　良夫　森井　洋光

産業建設常任委員会

◎濱野　隆三　○北野　進
大兼政忠男　中板秀一郎　向山　忠秀

議会改革特別委員会

◎大兼政忠男　○北野　進　濱野　隆三
濱田　隆伸　上野　良夫　向山　忠秀

地域創生特別委員会

◎寺井　秀樹　○番匠　雅典　米田　幸助
三盃三千三　小泊　辰男　森井　洋光

珠洲市議会だより
発行：珠洲市議会　編集：議会だより編集委員会
No.4　2017年5月1日発行

主な議会の動き

月	日	事　　項
2	2	政務活動費あり方検討会作業部会（第４回）
	6	議会改革特別委員会
	9	政務活動費あり方検討会
	14	第 134 回石川県市議会議長会定期総会（かほく市）
	20	平成 29 年度当初予算内示
		議会運営委員会
	21	議員全員協議会
	27	議会運営委員会
		議員全員協議会
		平成 29 年第 1 回珠洲市議会 3 月定例会【開会】
3	1	議会運営委員会
	6	平成 29 年第 1 回珠洲市議会 3 月定例会【質疑・一般質問】
	7	平成 29 年第 1 回珠洲市議会 3 月定例会【予算常任委員会】
	8	平成 29 年第 1 回珠洲市議会 3 月定例会【予算常任委員会】
	9	平成 29 年第 1 回珠洲市議会 3 月定例会【予算常任委員会】
	10	平成 29 年第 1 回珠洲市議会 3 月定例会【常任委員会】
	15	議会運営委員会
		議員全員協議会
		平成 29 年第 1 回珠洲市議会 3 月定例会【閉会】
		議会運営委員会

平時忠歌碑（山口誓子揮毫）

文治元年（1185年）壇ノ浦の源平合戦で敗れて囚われの身となった平時忠は、三種の神器の一つ「神鏡」を守った功績や、時忠が武士ではなく文官貴族であったこと、また、娘を源義経に嫁がせたことなどから死刑を免れた。同年秋、能登国へ配流となり、現在の珠洲市大谷町と馬緤町の境界付近の海岸（卿の間）へ漂着した。後に鳥川上流の則貞地内に居を構え、いくつかの歌を残している。

表紙の「白波の打ち驚かす岩の上に寝らえで松の幾世経ぬらん」は、時忠が配流の地で、波に洗われる岩間に生えた松を我が身にたとえて詠んだ歌である。この石碑は、昭和36年8月に時忠末裔の俳人・山口誓子が揮毫し、平時忠公歌碑建設会と西海郷土史研究会によって時忠墓所近くの小高い丘に建立された。墓所は「平時忠卿及び其の一族の墳」として、昭和14年12月27日に石川県史跡に指定されている。また、時忠が読んだ歌碑板が墓所を巡る散策道沿いに7基設置されている。

（表紙写真）

ご案内

第２回珠洲市議会 ６月定例会

本会議日時	議事内容
6月13日（火）15時～	開会、市長提出議案一括上程・説明、請願常任委員会付託
6月20日（火）10時～	質疑・一般質問、議案等常任委員会付託
6月28日（水）15時～	各常任委員会審査結果報告、質疑・討論、議案・請願等採択、閉会

お知らせコーナー

傍聴してみませんか

本会議は公開され、自由に傍聴できます。本会議当日に、市役所西側５階で受付してください。

インターネットでも視聴できます

珠洲市議会では、本会議の審議状況を市のホームページに映像配信（生中継）しています。また、過去の議会の録画映像も配信しています。

珠洲市議会ホームページ

身近で開かれた市議会を目指し、ホームページで様々な情報を公開しています。市議会の役割や仕組み、議員や委員会の紹介、議会日程、議会だよりなど掲載しています。ぜひご利用ください。

珠洲市議会　検索

編集あとがき

３月定例議会において、平成 29 年度珠洲市一般会計・特別会計および企業会計の当初予算が可決されました。珠洲市創生に向けた、奥能登国際芸術祭開催準備や組織づくり、スカウトジャンボリー開催準備、移住定住アクションプラン、新図書館整備などが主要事業となっています。また、議長の改選および各委員会構成の変更も行われ、議会体制が一新しました。新たな議会体制の下では、各事業の進捗や予算の執行状況について、本会議における一般質問・質疑・討論だけでなく、各委員会でのやり取りを、できる限りご報告するよう努めてまいりますので、ご愛読くださるようお願いいたします。

編集委員　濱野隆三

議会だより編集委員会
委員長　向山　忠秀
副委員長　三盃三千三
委員　北野　進
〃　濱野　隆三
〃　番匠　雅典

〒927-1295 石川県珠洲市上戸町北方１字６番地２
TEL 0768-82-7797　FAX 0768-82-7774
ホームページ　www.city.suzu.ishikawa.jp/gikai/shigikai.html